

【教員免除用】2025年度 業績優秀者返還免除申請書

西暦 2026 年 1 月 日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

私は以下及び教員免除申請における注意点について承知したうえで、教員免除を申請します。

・免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除に協力することに同意します。

【教員免除申請における注意点】

・教職大学院を修了または教職大学院以外の大学院を一定の条件のもと修了見込であり、教職大学院修了の翌年度の4月1日から正規教員となる場合に教員免除の申請が可能です。

・教員免除の認定を受けるには、在職証明書等の提出が必要です。

・教員免除の候補者として推薦された後は、教員免除の要件を満たしていないことが判明した場合も含めて、教員免除以外の候補者として返還免除の推薦を受け直すことはできません。

旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構(奨学)太郎」のように、旧姓を()書きしてください。

フリガナ キコウ タロウ
氏 名 機構 太郎

大 学 院 名	京都教育大学大学院		
課 該 当 の 課 程 の □ を ■ に し て く だ さ い	<input type="checkbox"/> 修士（博士前期）課程	<input checked="" type="checkbox"/> 専門職学位課程（教職大学院含む）	
研 究 科 名 ・ 専 攻 名	連合教職実践研究科・教職実践専攻	学 籍 番 号 9999999	
奨 学 生 番 号	6 2 4 0 6 9 9 9 9 9 9	生 年 月 日 西暦2001 年 4 月 5 日	

☐ 上記で選択した課程において、内定者として認定されている。

※該当する場合のみ、□を■にしてください。

大学院における研究課題等 ↓専攻分野に関わらず必ず記入する必要があります。

概要

業績の種類

- (1) 業績を証明する資料を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。
（「機構に提出」欄は学校の事務取扱担当者が使用します。）
- (2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。

業績の種類					資料番号	機構に提出	
1	学位論文その他研究論文	学位論文	必要項目：①申請者名 ②論文タイトル 例：①機構太郎 ②「（論文タイトル）」			1-1 (順位1)	
		研究論文	査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は左欄に ○を記載してください。		
					必要項目：①申請者名（著者名）②論文タイトル③論文内容の概要④ 学術雑誌等名⑤学術雑誌発行年		
			○		例：①機構太郎 ②「（論文タイトル）」 ③資料1-2参照 ④「令和7年度○○学会誌」 ⑤2025年	1-2 (順位3)	
		学会での発表	/	必要項目：①申請者名（発表者名）②題目③会議名④発表年⑤表彰、 受賞等			
				例：①機構太郎 ②「（題目）」 ③令和7年度○○学会定例会 ④ 2025年 ⑤優秀ポスター賞	1-3 (順位2)		
	日本学術振興会の特別 研究員に採用、または、民間財団等が公募 している競争的資金を 獲得することにより奨 学金を辞退						

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

業績の種類			資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士（博士前期）課程の学生のみ対象		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※修士（博士前期）課程の学生のみ対象		
4	（専攻分野に関連した）著書、データベースその他の著作物（1及び2に掲げるものを除く）	必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年 例：①機構太郎 ②「（タイトル）」 ③資料参照 ④2026年		
5	（専攻分野に関連した）発明	必要項目：①申請者名（発明（考案）者名） ②特許等の出願日あるいは認定日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2026年X月X日 ③特許番号 XXXXXXX 出願番号の例：2026-123456、特願令07-123456 登録番号の例：特許 第1234567号		
6	（専攻分野に関連した）授業科目の成績	成績証明書	6-1	
7	（専攻分野に関連した）研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②「〇〇〇〇 I」でティーチング・アシスタントを担当。 ③2025年（資料7-1：在職証明書）	7-1 （順位1）	
		例：①機構太郎 ②〇〇市立〇〇学校で非常勤講師として勤務した。 ③2025年（資料7-2：労働条件通知書）	7-2 （順位2）	
8	（専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回〇〇コンテスト ③2025年 ④最優秀賞		
9	（専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績	必要項目：①申請者名 ②競技会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回全国〇〇競技大会 ③2026年 ④3位入賞		
10	（専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）	必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度 例：①機構太郎 ②「夏休みプログラミング教室」 ③2025年（資料10-1：活動報告書）	10-1 （順位1）	
		例：①機構太郎 ②「〇〇市XX事業ボランティア」 事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。 ③2026年（資料10-2：ボランティア活動証明書）	10-2 （順位2）	